

衆議院議員  
元官房副長官

活動報告書

## 木原誠二

せいじ便り 100号

誠心誠意、政策で。



新たな年を迎え、私の本年の政治活動の中心は、高市政権の二丁目一番地、本丸である「日本成長戦略本部」のNo.2の幹事長としての仕事となります。

# 令和八年、 日本列島を、強く豊かに!!

昨年、高市総理のリーダーシップの下、政策が力強く起動しました。デフレの下で据え置かれてきた「年収の壁」の引上げ、半世紀にわたって続いてきたガソリン暫定税率の廃止、高校の実質無償化・公立小学校給食の実質無償化の実現。いずれも、長年解決できてこなかった課題ですが、少数与党という苦しい状況でも実現することができました。

私も、「日本成長戦略本部」幹事長として、これらの政策のとりまとめ、実現の最前線に立ってきました。

日本には、まだまだ課題が山積しています。米・中国・ロシア、大国が自国利益を剥き出しにする、弱肉強食ともいえる国際環境の中で、日本の平和と繁栄をいかに守っていくか、人口減少が急速に進む中、どうやって活力ある経済を作り、安心できる社会保障を維持するか、高市政権は「責任ある積極財政」を推進することで、国民の安全と安心を守り抜く覚悟です。

午（うま）年の令和8年、私もまさに「馬車馬」のように働き、「コストカット型の縮小均衡経済」から、賃上げと投資が牽引する成長型経済への転換、安全保障政策の強化を通じた抑止力の向上などに全力で取り組んでいきます。

## 木原誠二の政策目標

賃上げと投資が牽引する  
成長型経済を完結する

岸田政権の官房副長官として、コストカット型の縮小均衡型経済から官民連携での賃上げと設備・研究投資が牽引する成長型経済への転換を主導してきました。この政策は高市政権にも引き継がれており、今後は、日本成長戦略本部幹事長として、17の戦略分野での投資促進と賃上げを図りつつ、中小・零細企業への十分な利益分配のための転嫁対策の徹底、地域経済底上げのための地産地消促進など、きめ細かな政策展開を図ります。

政治改革を  
強力に推進する

党政治改革刷新本部幹事長として、政策活動費や旧文通費の適正化など政治資金規正法等の改正を全力で進めてきましたが、引き続き、政治資金の透明化・適正化に向けて取り組んでいきます。また、超党派の「令和臨調超党派議員会議」の幹事長も務めており、ガバナンス強化に向けた政党改革、民意を適切に反映する選挙制度改革、審議充実に向けた国会改革など、終わりのない政治改革をど真ん中で主導していきます。

大国のエゴから  
日本の平和を守る

岸田総理とともに、広島サミット成功を主導した経験、日米韓キャンプデービット会合に出席した経験、ゼレンスキー大統領を訪問しウクライナ問題に取り組んだ経験などを活かし、米中露の大国が自国利益を剥き出して追及する国際社会の現状を踏まえ、日米同盟、日英、日米韓、日米フィリピン、日米豪印、日ASEANなど「日米+同志国」の外交・安保ネットワーク展開を進めることで、日本の平和を断固として守っていきます。

認知症対策の推進で  
健康長寿社会を創る

「軽度認知障害（MCI）研究会」座長として、認知症対策に取り組んできました。レカネマブなど有効な薬も開発されているほか、血液バイオマーカーや脳CT活用など診断方法の研究も進んでおり、早期発見・早期治療開始の体制整備が急務です。文京区や神戸市などの個別自治体で実践されている優れた取組を全国展開するとともに、認知症への理解増進、不安解消、共生社会実現に向けて多様な施策を展開していきます。

子どもの  
教育・成育環境の整備する

現在、高校無償化、給食費の無償化などを着実に進めてきていますが、引き続き、大学・専門学校等の高等教育の負担軽減について一層の取組を進めていきます。また、塾や習い事などの費用についても、低価格のAI学習支援ツールの開発などを通じて、低減化に向けた取組を進めていきます。また、いじめ、自死、通学時の事故、更には子ども貧困など子どもをめぐって山積する課題に対し、重層的な政策展開を進めていきます。



## PROFILE

前自民党選挙対策委員長、元内閣官房副長官、元外務副大臣。岸田政権下で賃上げと投資促進が牽引する「新たな資本主義」を提唱、実行。1970年6月東京生まれ。私立武蔵高校、東京大学法学部、ロンドン大学LSE修士卒業。大蔵省入省。平成17年9月衆議院初当選。著書「英国大蔵省から見た日本」

Facebook <https://www.facebook.com/seiji.kihara>  
twitter ID [http://twitter.com/kihara\\_seiji](http://twitter.com/kihara_seiji)

## 地元事務所

〒189-0013 東京都東村山市栄町2丁目22-3 四方田ビル1階  
TEL 042-392-4105 FAX 042-392-4106

## 国会事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館915号室  
TEL 03-3508-7169 FAX 03-3508-3719

<http://www.kiharaseiji.com>

発行：木原誠二後援会 東京都東村山市栄町2丁目22-3 四方田ビル1階



# 日本の平和を守る外交・防衛に向けて!!



## ◆はじめに

**木原**…大臣、米国ハワイでのヘグセス国防長官との会談から戻ったばかりでお疲れのところ、今日は、日本の安全保障や外交について議論を深める機会をいただき、本当にありがとうございます。

**小泉防衛大臣**…いえいえ、木原さんは、私にとって最も信頼する先輩、同志であり、もう10年以上公私ともお世話になっていますが、こういう機会をいただいて、ありがたく思います。国際秩序が揺らぎ、従来の想定や概念が通用しづらくなっているからこそ、国際経験豊富で外交のスペシャリストでもある木原さんの力が必要ですし、木原さんと二人で国際

社会の安定と日本の平和を守っていききたいと思っています。今日は宜しく願います。

## ◆多層化する脅威

**木原**…我々の究極の使命は、かけがえのない「平和」を守ることです。

その中で、従来の考え方が通用しづらくなっているとお話ですが、全く同感です。安全保障は軍事力だけではなく、もちろん外交力、更には技術力・経済力が重層的に絡み合う時代になりました。その分、

「コストが高い」と思わせる力を持つこと、まさに抑止力が重要です。この点は、木原さんが岸田政権の官房副長官兼安全保障担当補佐官として、取り組んだ、反撃能力の整備やミサイル防衛力の強化、情報収集・警戒監視体制の高度化などが重要で、しっかりと進めていきます。

**木原**…そうですね、抑止力はまさに相手の無謀な行動を抑止するために必要な能力で、例えば、無人機の活用などは近年ますます重要になってきていると思います。人が前線に出なくても、広域を監視し、迅速に情報を共有する体制は不可欠です。特に島しょ防衛では、有人機と無人機の連携が抑止力の鍵を握ります。

## ◆経済安全保障・技術安全保障の重要性

**木原**…ちよつと話題を変えますが、私自身が取り組んできた分野としては、経済安全保障の強化があります。昨今、安全保障と経済の境界が曖昧になっており、例えば、私が量子産業創出PTの座長として取り組んでいる量子をはじめ、半導体、AI、バイオなど先端技術への戦略的投資が安全保障上も極めて重要になっています。

大臣はどう考えておられますか？

**小泉防衛大臣**…技術を制する国が、安全保障でも主導権を握る時代です。安全保障の焦点は、「兵器」や「武器」そのものではなく、それらを支える技術基盤の競争に移っています。例えば、衛星通信や量子暗号通信は指揮命令にとって死活的に重要ですし、AIは深度ある脅威分析などに不可欠になっています。また、半導体の供給確保は兵站そのものです。

**木原**…まさに、防衛省と経産省、文科省、内閣府などの役所の垣根を超えたアプローチが必要で、例えば、大学で培われた基礎研究を産業界で応用し、その



政治の役割もより大きくなっていると思いますが、まずは、現在の国際情勢をどう見ておられますか。

**小泉防衛大臣**…最大の変化は、脅威が、単一ではなく、多層的に同時進行していることだと思っています。武力はもちろん、希少鉱物やサプライチェーンを利用した経済的威圧、サイバー攻撃や情報戦、宇宙空間での妨害行為など、多様な手段が組み合わされています。

**木原**…まさに、従来の「陸海空」の枠を超えた複合リスクによって安全保障環境は激変し、国の守り方も変わってきている。しかも、問題をより大きく、より複雑化させているのが、米国、中国、ロシアなどの大国自身が国益を剥き出しで追求するなかで、新たな領域に突き進んでいることです。

**小泉防衛大臣**…その通りです。国際社会で大国のエゴも顕在化するなかで、日本としても、宇宙作戦郡やサイバー防衛隊を充実させ、AIを活用した情報分析、自律型無人機の導入など、新領域の能力を急ピッチで強化しています。

## ◆「抑止力の質」の向上

**木原**…はい。昨年、政府は防衛力強化の大きな方針を示しましたが、その中で大臣が特に重視されている点はどこですか？

**小泉防衛大臣**…一番は「抑止力の質」を高めることです。仮に他国が日本の平和を壊す行動を取ったとしても、「得るものはない」、むしろ

成果を防衛領域にも循環させる。こうした「知の循環」が、日本の安全保障の未来に直結します。

## ◆平和を守る外交の重要性

**小泉防衛大臣**…防衛力の話をしましたが、木原さんといえばやはり、経験に裏打ちされた外交力だと思います。先ほど抑止力といういましたが、外交こそ最大の抑止力でもありますか、いかがですか。

**木原**…私は、国際社会の中で「仲間を出来る限り多く作り、その仲間の結束を固める」、同時に「敵を可能な限り減らし、残った敵を分断する」、これが外交の役割だと思っています。正に、外交は最大の抑止力です。そのために、総理、大臣、副大臣、政務官、議員外交、民間外交、縦横斜め、多層的に外交を展開していく必要があります。

**小泉防衛大臣**…そうした縦横無尽の外交力の後ろ盾というか前提になるのは強い防衛力でもあります。自らの国は自ら守る能力があればこそ、他国は日本の外交を信頼し、話を聞いてくれる、安全保障と外交は車の両輪ですね。

**木原**…まさに、そうですね。もう一つ重要なのが、国民の理解です。国民の理解なくして、防衛も外交ありません。安全保障や外交を「遠い世界の話」にしないことが重要です。サイバー攻撃で物流が止まれば、スーパーの棚が空になる、シーレーンが紛争に巻き込まれてエネルギー供給が不安定になれば、電気代も事業活動も大きく影響を受けるわけで、暮らしそのものを「守るための取組であることをしっかりと説明していきたいと思っています。

**小泉防衛大臣**…ええ、日本の安全保障は、軍事力だけでなく、技術、経済、外交、そして国民の理解という複合的な要素の上に成り立っています。これからも党や国会等で議論を深め、国の未来を見据えた政策を進めていきます。

**木原**…普通の日常、つまり平和こそ最も価値のある成果です。静かな当たり前の日常、平和を守るために、これからも小泉大臣の柔軟な発想で、不断の備えを取っていただきますよう、願います。今日はありがとうございました。

